

EU Indicators

欧州経済指標コメント：1月英国小売売上

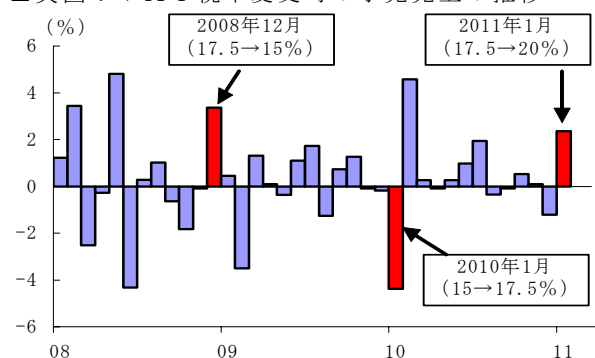
発表日：2011年2月21日(月)

～寒波の反動増がV A T増税の反動減の影響を上回った～

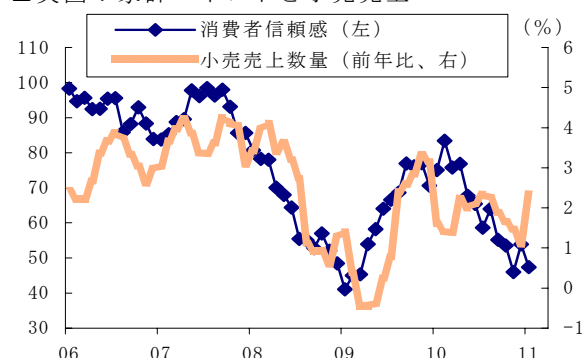
第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

- 18日発表の1月の英国の小売売上数量（ガソリンスタンド含む）は前月比+1.9%と前月の落ち込み（同▲1.4%）を取り戻した。11月→1月の小売数量の伸びは年率+3.4%と、個人消費が堅調に推移した昨年央と同ペース。前月の落ち込みが記録的な寒波に起因したもので、10-12月期の実質GDPのマイナス成長（前期比▲0.5%）が一時的な下振れとの判断を裏付ける内容。とはいえ、物価上昇やV A T増税による実質購買力の目減り、雇用改善の足踏み、財政緊縮による景気の下押し圧力などから、先行きの個人消費は緩慢な伸びにとどまる公算が大きい。
- 1月からのV A T税率の引き上げを前にした昨年末の駆け込み需要と年明け後の反動減は、過去の税率引き下げ・引き上げ局面とは異なり、明確な形では確認できない（左図）。このところの消費者マインドの慎重化を受けて（右図）、一部小売店では年明け後の値引率拡大でV A Tの増税分を消費者に還元する動きも見られ、天候要因による振れとともに税率変更の影響を見え難くしている。
- 店舗形態別の小売は、前月に落ち込んだ各形態が押し並べて回復し、寒波の影響の大きさを窺わせる。前月の非店舗型小売の力強い伸びは、天候不順によるネット小売の利用拡大が影響したと思われるが、今月も引き続き前月比3%前後の伸びを記録（表）。従来型小売からの傾向的なシフトも生じている。

■英国：V A T税率変更時の小売売上の推移



■英国：家計マインドと小売売上



■英国の小売売上数量（季節調整済み、前期<月>比、%）

	2010					2011									
	1Q	2Q	3Q	4Q		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
小売売上数量・合計	-2.4	1.5	1.1	-0.1		0.6	0.7	-0.2	-0.5	0.6	0.3	-1.4	1.9		
除くガソリンスタンド	-1.6	1.5	1.2	-0.0		0.9	0.7	-0.2	-0.3	0.4	0.2	-1.0	1.6		
食料品店	-1.5	0.5	-1.2	-0.4		0.7	-1.4	-0.5	-0.3	0.1	0.5	-1.6	0.3		
非食料品店	-1.5	2.1	2.4	0.0		1.0	1.9	-0.3	-0.1	0.5	0.1	-1.2	2.4		
百貨店・スーパー	1.4	3.7	1.1	-0.8		1.4	-0.9	0.7	0.3	-0.9	-0.7	0.4	5.7		
衣料品店	4.0	0.3	1.4	-0.7		1.0	1.6	-0.7	-0.3	0.9	-0.3	-2.9	3.4		
家庭用品店	-7.4	3.8	-0.2	-3.5		1.1	-0.4	-1.2	-0.4	-1.0	-1.6	-2.6	3.4		
その他	-4.0	1.4	6.5	3.7		0.6	5.9	0.2	0.0	2.0	2.2	0.4	-1.0		
非店舗型小売	-1.9	3.0	6.7	2.0		1.9	3.6	3.1	-2.6	1.5	-0.2	3.9	2.7		
ガソリンスタンド	-10.4	2.2	-0.8	-0.4		-2.3	1.4	-0.6	-2.4	2.8	0.7	-5.3	6.1		
小売売上高・合計	-1.4	1.8	0.7	1.2		-0.1	0.8	-0.2	0.1	1.0	0.9	-1.2	3.0		

出所：英連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。